ロッキー通信No.1

「プライオン　思いを力に！」

学校教育目標：「豊かに育つ生徒」
～「挑戦」と「創造」～
校　　訓：「求学・親和・創造」

R7.4.7(月)発行　文責　校長　六山　和弘

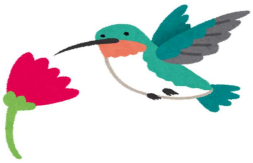
【生徒・保護者の皆さまへ】
いよいよ本日から、令和７年度の学校生活がスタートしました。
今年度は、特に「自分らしさ」・「生徒ファースト」を基本理念に据えて、生徒が「自らの学び」を追求していけるように、ワクワク・ドキドキのさまざまな仕掛けを準備してまいります。今後も、この通信をとおして学校や生徒たちのようすを情報発信していきたいと考えておりますので、よろしくお付き合いください。
あわせて、私自身も自分らしく取り組めるよう、この通信の名称を「くろつち通信」から「ロッキー通信」に変更させていただきました。少し、ふざけているように思われるかもしれませんが、真剣に熱く、中身を充実させていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。　　学校長　六山　和弘

令和７年度がスタート！学校の主役は生徒の皆さん一人一人です！！

◎始業式のあいさつを一部抜粋してお伝えします。

さて、令和7年度、第一学期始業式。新たな学校生活の節目にあたり、話をさせてもらいます。
まずは、次の物語を紹介します。

ある森が火事で燃えていました。
今年の春は各地で山火事がニュースになっていましたね。だから、決して他人ごとではありません。
森の動物たちは、われ先にと逃げまどっています。
そんな中、一羽のハチドリだけが行ったり来たり･･･
口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、炎の上に落としていきます
その姿を見た動物たちは、
「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑います。
その言葉に、ハチドリは、こう答えました。
「私は、私にできることをしているだけだよ･･･」と。



この物語は、ここで終わりです。
さて、この続きと結末は、いったいどのようになるのでしょうか。

ちなみに、皆さんだったら、このハチドリの行動に対して、どのように反応しますか？
自分の命最優先で、無視して逃げますか？
それとも、ハチドリの懸命な姿に心打たれて、自分も自分にできることを考えて行動しますか？
この時の一人一人の考え方次第で、物語の結末は変わります。
そして、その割合によっては、この西大村中学校の未来も結果が変わってくるのではないかと私は考えます。
最終的に素敵な結末を生み出すことができるよう、どうか一緒に、思いを力に、行動に繋げることができるよう、この一年、皆で努力していこうではありませんか。よろしくお願いします。

ただ、せっかくなので、この物語のハチドリが教えてくれることを少しだけ確認してみましょう。

ハチドリは教えてくれています。
他の人を非難したり、怒りや憎しみや妬みに身を任せる暇があったら、自分が出来ること、自分にも出来ることを淡々とやっていこうよ･･･、と。
ハチドリは教えてくれています。
私たちは、問題や困難にぶつかった時、それを考えるだけで気が遠くなってしまったり、あきらめや無力感に心を支配されてしまいます。しかし、どんな困難な中にいても私たちには「出来ること」が必ずあるんだよ･･･、と。

さぁ、今日から始まる令和7年度、自分の可能性を信じて、自分らしく、それぞれの自分づくり、仲間づくり、学校づくりをスタートさせていきましょう。

今年度も、学校教育目標は、「豊かに育つ生徒　～「挑戦」と「創造」～」です。
そして、気持ちのいいあいさつ、またはきつい時の「助けて」や「分からない」の声を臆病がらずに発することができる「明朗な人」を目指して。
授業や行事、部活動などを通じて、自らを律し自分自身を磨き、他者に優しく接することができる「期待される人」を目指して。
そして、より広く、多くの人たちからの学びを得ながら感謝を伝えることができる「感謝できる人」を目指して。
母校であるこの西大村中学校が、さらに輝きを増すように、生徒の皆さんと一緒につくっていきたいと考えています。そのためにも皆さんは、「自らの学び」をしっかりと意識をしてください。
ワクワク　・ドキドキして楽しみながら取り組めるような、さまざまな仕掛けをたくさん準備していきたいと思ってます。どうぞ、よろしくお願いします。
合い言葉は、今年も「プライオン　思いを力に！」です。
それでは、本日から始まる、みなさん一人ひとりの、自分づくり、仲間づくり、学校づくりに、大いに期待をして、始業式の言葉とさせていただきます。

令和６年度末の仲間の反省や振り返りもしっかりと生かしていきましょう

一年間を振り返って

１年３組　永吉　泰博

中学校に入学して一年が過ぎました。入学したころは、教科ごとに先生が変わったり、給食の時間が短くなったり、部活動やテストがあったりと、小学校とは全く違う生活になって戸惑うことが多かったですが、そのたびに、先生方や先輩方に助けてもらいながら、少しずつ中学校生活に慣れてきました。そこで、学習面や生活面について、この一年間を振り返ってみます。

まず、学習面についてです。小学校よりも授業のスピードが速くなったことにより、予習や復習などの家庭学習がとても大切だと実感しています。初めは、自学の提出率も悪く、内容も、とりあえずやればいいというものでした。それが一年を通して、少しずつ提出率も上がり、取組の質も上がってきました。２年生になると、授業内容ももっと難しくなるので、より一層自学の取組が重要になっていくと思います。なかには、全く提出できていない人もいるので、全体で自学の取組状況をもっと改善できるようにしていきたいです。そして、授業に集中できなかったり、私語をして注意を受けたりするなど、授業の受け方について課題があります。授業が中断して、周りに迷惑をかけたこともありました。２年生では、そのようなことがないように、一人一人が意識し、そして、学級全体がそれを許さないという雰囲気づくりをしていきたいです。さらに、一分前黙想の状況も学年全体では、違反者の数がゼロになった週はありませんでした。来年こそは、黙想違反者ゼロを目指して、生徒会や専門委員会が中心になって向上させていきたいです。

次に、生活面についてです。全体的に校則を守って学校生活を送ることができたと思います。そして、それぞれの学級で協力して学校行事などに取り組むことができ、学級の団結力は強くなったと思います。しかし、あいさつや返事は、一部の人だけが大きな声を出している状態で、学年としては、しっかりできているとは言えません。爽やかなあいさつや返事が響く西中にするために、学年として取り組んでいきたいです。

４月から私たちは先輩になります。胸を張って後輩をリードできるよう、そして、しっかり３年生を支えられるよう、より一層勉強に励み、学校生活・部活動・学校行事においても、全力で取り組んでいきたいです。さらに、心の面も成長させて、相手のことを考えた行動ができる集団を目指し、よりよい西大村中学校をつくっていきたいです。

３学期を振り返って

２年２組　江藤　里愛

２年生の３学期は「３年生の０学期」とも言える大切な学期でした。この学期、２年生は「３学期０学期」を合言葉に、来年度の最高学年としてふさわしい行動を意識し、２学期の反省を活かしてあいさつや反応を人任せにせず、自ら積極的に行動することを目標に掲げました。

私がこの３学期に特に取り組んだことは、期末テストに向けた自主学習です。２年生全体でも、自学ノートの提出を徹底しようと、学習委員会を中心に積極的に取り組みました。全員が来年度の受験生としての自覚をもって取り組んだと思います。学級の自学ノート提出率は１００％には届きませんでしたが、９０％を超え、２年生全体として「３年生の０学期」にふさわしい結果となりました。

また、３学期には新体育館が完成し、「学校全体で創り上げる卒業式」を目指して努力しました。特に、在校生の送辞で歌った「大切なもの」や校歌は、みんなが人任せにせず、自分たちで歌ったからこそ、心のこもった合唱となり、卒業生を温かく送り出すことができたと思います。

この「３年生０学期」では、多くの目標を達成することができましたが、まだ達成できていないこともあります。特に、授業前の２分前着席については、評議員や生徒会が呼びかけないと座らないことも多かったので、これからは後輩たちの見本となるような行動を心掛けていきたいと思います。

そして、いよいよ来年度は最高学年になります。私は３年生として、部活動と学習の両立をより一層徹底して取り組んでいきたいと思います。また、新体育館が完成したことで、来年度の体育大会や合唱コンクールはよりよい練習ができるので、去年よりも素晴らしいものを創り上げられると思います。これらの行事に、より一層楽しみながら全力で臨んでいきましょう。私たち２年生は最高学年として、自分自身が主体的に行動できるよう、これからも頑張り続けます。

こんなに素敵な花たちも、皆さんの登校を待ちわびていましたよ

どこの景色かわかりますか？

とても素敵な学校だね。ここにも誰かの懸命な力が働いているんだよ。